

# 小松市地域女性活躍推進事業【小松市】

個別事業費	5,000 千円
交付金額	3,375 千円

## 地域の実情と課題

市内には転勤を伴う事業所が多くあり、地域の人との交流の機会がない人が多いこと、これに伴い、育児や健康に関する不安を抱える人や、経済的不安を抱える人が多くいることが懸念される。

人との交流ができる場、自身の不安な気持ちや自分の思いを気軽に話すことができる場が必要であり、そのような窓口や居場所の需要が高まっている。

## 目的・目標

○地域コミュニティとの接点が少なく、不安を抱えている女性が、地域とのつながりをもてるような居場所づくり、不安感や困りごと等を相談しやすい体制づくりを進める。

[目標] 年間相談件数 120 件  
居場所づくりとしてのカフェ延べ参加者数 800 人

## 事業の特徴

○相談窓口  
相談内容に応じて、保健師、助産師、看護師が対応。面談、電話、オンライン方式のほか、希望により訪問にて対応した。必要に応じて、関係機関と情報共有を行い、必要な支援につなげた。

○居場所づくり(カフェの開催)  
定期的にイベントを開催することで、気軽に立ち寄れる場とした。  
手作りスイーツや軽食の提供を通じて、支援者と相談者が時間を共有できるように工夫した。また、利用者が主体となった会を企画を実施することで、ピアサポートの場づくりを行った。

## 連携団体

子ども食堂  
フードバンクを実施する民間団体  
障がい者の当事者・介護者のグループ  
障がい者相談支援センター  
すこやかセンター  
発達支援センター  
高齢者総合相談センター 等

## 事業の効果

○居場所づくりとして実施する「とんとんカフェ」の開催数を増やし、女性が参加しやすくなるようなイベントを開催したことで、カフェ利用者数がR5は前年の1.5倍増加した。R6は前年同様の高い利用者数を保っており、ニーズの高さが伺えた。

○カフェの利用をきっかけに不安や悩みを打ち明けことができ、相談につながるケース、行政だけでは十分なフォローが難しい方の相談先となっているケースもあり、課題を抱える人々の受け皿となっている。

[実績] 年間相談件数 : 231 件  
カフェ延べ参加者数 : 908 人

## 今後の課題

「とんとんカフェ」の利用が増えており、不安や孤独を抱える人々の居場所となっている一方、不安を抱えながらも支援につながらない女性も依然多くいることが見込まれる。

より幅広い人々に、本事業を知ってもらい、利用してもらえるような工夫を続けていくことが必要である。

# 事業の概要

## 相談窓口

女性のための相談窓口の設置（平日9時～16時）

相談員は、保健師、助産師、看護師

## 研修会の実施

○相談、支援を行う人材育成のための養成研修会「出会い・つながる  
こころの寄り添い人講座」を実施

第1回「よくある精神疾患を正しく知ろう」

講師：秋山 典子（（医社）栗津神経サナトリウム 理事長）

第2回「地域にある社会資源や福祉サービスの利用について」

講師：東出 洋幸（小松市社会福祉協議会 相談員）

第3回「なごみの郷でのサービスや活動について」

講師：中村 有紀（社会福祉法人なごみの郷 次長）

○事例検討会

「2例の今後の対応について」

講師：田中 浩二（金沢大学医薬保健研究域保健学系 教授）

## 関係者連絡会の開催

○支援員及び相談員が情報共有し、様々な悩み等をもつ女性に  
寄り添った相談・支援ができるよう会議を開催（随時）

○市の関係部署が集まり、現状や課題を共有、今後の連携について  
確認（年1回）



令和6年能登半島地震により本市へ広域避難されている方のもとへ出向き、マッサージなどの提供とあわせ、個別相談を実施

## 居場所づくり

居場所づくりとして「とんとんカフェ」を開催（週4,5回）



手作りスイーツ等を食べながら…  
リラックスしてお話ができる場に



とんとん縁日

気軽に立ち寄れるようイベントを開催  
相談のきっかけにも



みんなで防災について考える



バレンタインおやつ作り



おさがり交換会



ゆったりヨガ



世界を知るおはなしの旅「ブラジル編」

利用者同士での情報交換や  
利用者が主体となった取組みを行うなど、ピアサポートの場となっている